

## 編 集 後 記

2020年を迎え、会員の皆様、あけましておめでとうございます。最近では本誌は海外からのアクセス数も多く、日本の臨床神経学の診療レベルを世界に示し、日本の脳神経内科の「顔」となっている雑誌であると考えています。本誌の編集委員を拝命して、2代の委員長に任せ、気づけば、もう6年半以上本誌の編集に携わせて頂いています。本誌は会員各位のご理解の基、電子ジャーナルとなりましたが、他誌では電子化により大幅な投稿数の減少が見られる場合もありますが、本誌は幸に投稿数を維持しています。従って、編集委員は、毎日多忙な日常診療の中で査読に追われる日々でもあります。本誌は、筆頭著者が若い会員である症例報告が多いことが特徴の一つですが、投稿規定を遵守し、考察の論理的思考展開が理解しやすい論文や内容が感銘させられる素晴らしい論文が6年半前よりも明らかに増えてきたとも感じます。しかし、現在でも、文献検索が不十分で必要な論文が引用されていなかったり、引用論文の内容の読解がやや不十分であることが指摘できる論文、また論旨展開が明瞭でない論文もあります。原則、査読委員は基本的にリジェクトするのではなく、大幅改変でも投稿への道を残すようにしていますので、その修正にかなりの時間を費やし苦慮しています（^^;;>）。つまり、修正箇所を指摘するだけではなく（国際誌の査読もしてい

ますが、こちらは修正加筆箇所を指摘するだけで、かなりの投稿がリジェクトされます）、具体的な修正文を示して加筆・修正していただいとお願いするなどしています。従って、それなりの時間と労力が、多忙の日常診療の中でこの業務に費やされています。さらに言えば、査読委員は単に論文の内容のみならず、「病歴」が法律で「要配慮個人情報」として規定されていることもあり、「匿名化」にも十分に注意して投稿写真の細かい文字までチェックしますし、さらにはCOIの規定も考慮して査読をします。この社会動向の変化は、遵守するのが当然と言えば当然なのですが、査読する側からすれば、一層の配慮や気配りが必要となっています。

どうか、会員の皆様におかれましては、現在の社会動向にもご配慮頂き、個人情報保護法やCOI等にもご留意頂き、投稿規定に準拠した論文を十分にご推敲なされてからご投稿されることを切にお願い申し上げます。今後も会員の皆様からの貴重な投稿をお待ち申し上げますので、よろしくお願い致します。

会員の皆様のご発展をお祈りして、編集後記とさせていただきます。

（亀井 聡）

## 〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹  
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利  
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦  
 編集委員（幹事兼任） 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」	第60巻 第2号	2020年2月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		戸 田 達 史
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル  
 日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>